

事業報告書

2026年（令和8年）3月31日

福山市長様

住所 福山市平成台23番28号

団体名 旭丘学区まちづくり推進委員会

代表者名 委員長 三島 秀樹

2025年（令和6年）4月30日付け（福東地 第3号）で交付決定のあった福山市地域まちづくり推進事業を、次のとおり実施しました。

事業名

旭丘学区 地域まちづくり推進事業

実施場所

旭丘交流館他

事業費

2,809,682 円

補助金額

1,340,000 円

着手年月日

2025年（令和7年）5月 1日

完成年月日

2026年（令和8年）3月 31日

実施事業の経過及び内容

別紙事業内容報告書のとおり

事業成果

別紙事業内容報告書のとおり

添付書類

1 収支決算書                      2 事業内容報告書

3 その他市長が必要と認める書類（ 監査結果の写し ）



2025年度 旭丘学区 地域まちづくり推進事業 事業内容報告

旭丘学区まちづくり事業の基本コンセプト: 『自分たちのまちは、自分たちで作る』  
『いざという時に頼りなのは“地域の絆”』

事業番号	事業名 内容	詳細 (実施年月日、場所、参加人数など)	課題に対する成果	今後の改善点・課題	事業の振り返り をした場	
1	人権と世代別事業	1 人権啓発活動	学区標語『旭丘 小さな親切見えるまち』ティッシュ作成、学区イベントで来場者へ配布	学区標語『旭丘 小さな親切 見えるまち』の地域認知度が向上し、人権意識を高めた。	人権意識を高め、行動化につながるための学習会などを企画検討する。	・人権学習推進協議会役員会 ・まちづくり事務局会 ・交流館運営委員会
		2 人権週間IN旭丘	2024年12月4日～12月13日 旭丘交流館:92人	写真展・人権パネル・小学生の人権標語を掲示し、人権意識向上に努めることができた。	次年度も継続実施し、展示物の検討・情報発信を進めていく。 人権について考える機会をつくる取組みをすすめる。	
		3 完熟とまと	『元気いっぱい！笑顔の旭丘』をテーマとして講座を開催 通年6回 旭丘交流館:69人	『元気いっぱい！笑顔の旭丘』をテーマに行い、楽しく健康づくりを学ぶことができた。	次年度も継続して地域の方々の「心と体の健康づくり」講座を検討していく。	
		4 サタデー遊び塾	通年9回 旭丘倶楽部・旭丘交流館:244人	千羽鶴を作り、人権平和資料館に届け、館長による平和学習を実施した。 普段、土に触れることが少なくっている為なのか、収穫時・クッキングは参加者も多くとても楽しく行うことができた。	収穫やクッキングだけでなく、畑の作業も楽しめる工夫が必要。 講師の高齢化や固定化が課題。 旧旭丘幼稚園の借用期限(～9/E)への対応が必要。	
		5 乳児ランド村	未就園児とその親を対象に、子育てと育児に関する講座 通年5回 旭丘交流館:23人	こどもの遊び、栄養、育児相談など、親同士の交流も図れた。 親子のふれあいを目的に開催しているが、目的通りに行うことができた。	旭丘学区在住の方への周知の仕方や内容の検討が必要である。 近隣こども園へのチラシ配布や保健師さんからの声かけは継続して行う。	
		6 夏休み講座	『サマーフリーWeek!!』として、小学生を対象に工作やこどもクッキングを実施。 通年2回 旭丘交流館:39人	こどもたちの思い出作りのお手伝いができた。 親子間のコミュニケーションや保護者同志の交流もできた。	次年度も、同様に計画し情報発信行う。	
2	安心・安全事業	7 こども安全見守り活動	通年 児童下校時、見守り 4箇所:4人/日(202日、延べ562人対応)	旭丘小学校児童の下校時の危険交差点で安全確保と挨拶、交通マナー遵守を呼びかけた。	下校時の安全確保と挨拶、交通マナー遵守を呼びかける。 見守り活動できる隊員を増やす必要がある。 地域とPTAが協力し合い、さらなる協力体制をつくる必要がある。	・まちづくり事務局会 ・交流館運営委員会 ・青少年育成協議会会議 ・自主防災組織会議 ・旭丘たいたい隊会議
		8 旭丘まちづくり支援活動	2025年10月23日 第2領域(倉庫補修) 1人 2026年 2月 7日 第3領域(旭丘小学校外側溝清掃、沓番館北市道側溝清掃) 11人	第1領域:旭丘学区の「顔」として、学区外イベント(東部文化フェスタ、JFEフェスタ)への協力を通して組織強化を進める。 第2領域:支援依頼があれば調査し活動していく。地域の方々の「ちよっとした困りごと」に対応していく。 第3領域:隊員による主体的な活動企画で活動する。地域の環境整備で地域住民の安心・安全につながる。	次年度も継続して活動し「たいたい隊」のアピールも行う。 組織強化を図り、まちづくり活動協力者の発掘と育成を担う。	
		9 獣害対策	2025年 7月～ 広島県鳥獣対策等地域支援機構(テラス)と連携 2025年 9月 旭丘イバシ対策チーム(11人)発足 2026年 2月15日 地域住民を対象に「イバシ対策説明会」実施 32人 2026年 3月2日～6日 通学路沿いのハフアゾーン設置	地域住民のイバシ被害の発生防止に向けた取り組みがスタートできた。 テラスと旭丘イバシ対策チームが連携して、対策の計画実行ができた。 旭丘小学校通学路沿いのハフアゾーン設置に所有者(JFE)の協力が得られた。	イバシの目撃は、「相変わらず発生」しており、いなくなったわけではない。 引き続き、誘引物除去や出没防止などのハード対策を進める。 あわせて、地域住民には「目撃情報の共有」「ゴミステーションの使用管理」を要請して 行なう。	
		10 防災と防犯活動	避難訓練:2025年11月23日 9時～10時 各町内1次避難場所:296人(緑陽台148人・みどり24人・平成台72人・ゆめみが丘52人) 2025年11月23日 10時～11時 防災機材点検 旭丘第4公園 防災倉庫:10人 2025年6月22日 10時～11時30分 学区防災研修会『今こそ取り組もう！地震災害への備え』 団体別研修 旭丘交流館:21人 講師:三島防災士	防災避難訓練・参集者を対象とした防災体験や講座により、地域に特化した防災意識付けにつながった。 防災講演会を通じて防災意識を高めることが出来た。 また、避難訓練終了後、防災倉庫の備蓄防災機材の点検・作動確認を実施した。	参加者の減少化があるため地域防災の重要性を継続しながら活動をする。 防災研修会を引き続き開催し、「備え」を含む地域防災意識の高揚を図る。 自宅避難生活を前提に「防災トレックス」の斡旋なども企画する。	
		11 エリア30活動	取組を表示している「のぼり」が破損・破れなどしてきたため、製作・取り付けをおこなった。	地域住民の意識を高めることで団地内生活道路における安全化を図る。 まちづくりは地域住民みんなが行動で取り組む必要性をアピールできた。	次年度も引き続き定着活動を行ない、生活道路の安全化を図る。 住民がみんな参加、行動でまちづくりをすすめる取組みをおこなう。	
3	環境衛生事業	12 散乱ごみゼロ活動	5回実施(6/8.8/24.10/12.12/7.2/8) 9時30分～11時 各町内⇒町内歩道⇒旭丘第1公園:362人	きれいな旭丘を維持するため、ごみ回収、草刈実施。また世代間交流活動にもなった。 大門中学校生徒ボランティアや旭丘ソフトボールチームなどの協力もあった。	年々参加者が減少している。 町内会の声かけなど活動の促進を図る必要がある。	・まちづくり事務局会 ・公衆衛生推進委員会
		13 環境・公衆衛生推進活動	2025年11月16日 旭丘小学校児童 旭丘小学校環境健康ホスター作成、文化祭展示 イベント会場での分別実践(文化祭・緑陽台夏祭り・ゆめみが丘夏祭り・平成台夏祭り)	各イベント会場の分別と3RをPRし啓発活動を行った。 また、旭丘小学校児童による環境衛生ホスターを作成した。	次年度も分別意識向上に向けて活動する。	
4	福祉事業	14 長寿お祝い	2025年9月14日、ご長寿訪問 274人 旭丘小学校児童帯同で対象者宅を訪問し、ご長寿をお祝いした。	学区内のこどもたちと一緒に訪問し、皆さんに喜んでもらった。	こどもの参加が少なかった。協力者を増やす取り組みが必要。	
		15 老人会活動支援	年間通じて実施 旭丘第1・2・3・4公園:35人	年間を通じて公園の整備活動を実施し利用者の安全確保を図った。	次年度も、活動の活性化や組織の維持管理を図る。	
		16 あいさつ運動	2025年11月 1日 登校時あいさつ運動 平成台東公園 4人 2025年11月16日 ふれあい文化祭 あいさつ運動ティッシュ配布 2025年12月 8日 「ごみゼロイストラ」開催 63人	文化祭やごみゼロのイベントで「あいさつを交わす」ことの大切さをアピールしました。 登校時に集合する公園に出向き、あいさつの奨励を行なった。	次年度も機会あるごとに、 挨拶を交わすことの大切さをPRし、あいさつのできる人づくりを展開する。	
5	地域活性化事業	17 運動会	会場準備後の降雨により、当日グラウンドコンディション不良により中止した。(当日朝6:30決定)	当日朝グラウンドコンディション不良により中止したが、会場の片付けを実施した。 旭丘小学校児童は登校日となった。	こども会がなくなったこと、ロースタンの保護者へのお知らせルートが難しい、 選手の人選困難(理由:高齢化など)、町内会役員も協力をお願いに苦慮。 ひいては、「町内会役員になりたくない」などの声も。 次年度から「運動会」に代わる「心と体リフレッシュ活動(史跡めぐりとウォーキング)」 へと活動の内容を変更し、活動の目的である「地域住民の交流」を図る。	・旭丘学区自治会連合会定例会 ・福祉を高める役員会 ・まちづくり事務局会 ・ほのぼの会会議 ・旭丘CR会幹事会
		18 二上りおどり	練習 2025年8月10日～12日 旭丘交流館 本番 2025年8月13日 きたはま通り演舞場:35人 総踊りにも参加	演舞(練習～本番)を通じて参加者の世代間交流を図ることができた。 参加者の減少となったが、福山の伝統芸能(旭丘独自の男踊り・女踊り)が継承できている	参加人数の減少 次年度も継続的に参加増に向けて取組む。	
		19 地域花いっぱい活動	2026年3月15日 9時～11時 ・平成台西公園、ゆめみが丘第2公園、四十分第1公園、みどりごみステーション 総参加者:145プランター	町内を花いっぱいにする活動にまた一歩近づけることができた。 参加者が増加した。(花苗不足が発生した)	次年度も、こども達の理想像である「花いっぱいの旭丘が好き」を進めていく。 花苗の準備数増の検討をおこなう。	
		20 旭丘とんど	2026年1月18日 10時～12時 10時火入れ 旭丘倶楽部:280人	旭丘CR会スタッフにより、2週間前より準備に協力いただき本番を迎えることができました。 お焚き上げを行い、参加者皆さんで「今年一年の安寧を願うことが出来た。 参加された方には、ぜんざいを振舞い、紅白餅を持ち帰っていただきました。	次年度も継続的な活動を実施する。 旭丘の伝統的行事とし、参加者世代間交流の場とする。 旧旭丘幼稚園の借用期限が9月末のため、次年度の計画再検討する。	
		21 文化祭	2025年11月16日 旭丘小学校:500人	売店、展示物、ステージ発表などふれあい文化祭を通して地域のふれあい、絆を築くことができた。	次年度も継続して実施し、地域住民のふれあい交流の場とする。	
		22 チャリティー募金	2025年8月30日・8月31日 9時～18時 ローソン引野南店 駐車場:来場者約1000人(募金額320,726円)	24時間テレビと同期化して「募金預かり所」運営。募金活動を通じて共助の気持ちの浸透を図る活動ができた。 各団体の協力で団体間の連携が図れた。こどもにとっては貴重な体験の場となった。	次年度も募金活動通じて、共助の気持ちの浸透を図っていく。	
		23 世代間グラウンドゴルフ大会	2026年3月22日 旭丘小学校グラウンド 23人 雨天対策としてテント(3m*3m)1張購入	グラウンドゴルフ(ゲーム)を通じて世代間交流を図る活動ができた。	次年度も事業を展開し「住民の絆づくり」を図る活動を進める。 高齢化により参加者が減少している。対応を検討する。	
		24 地域まちづくり拠点活動	2025年6月1日 旭丘倶楽部清掃:6人 施設の維持管理、防火ハケ2個設置	旭丘倶楽部の維持管理を行い、備品を整えて、楽しく使って頂ける施設整備を行った。	施設の利用期限が9月末までのため、備品の移設を行なう。	
6	広報事業	25 広報活動	「愛Love旭丘」会報 No.79発行	まちづくり事業の内容を掲載し全世帯に配布。 まちづくり事業を認知してもらうべく広報活動を図った。	広報活動を通じて旭丘の取組事業の見える化を進め活動参加促進を促す。 年間2誌の発行を行なう。	・まちづくり事務局会
7	委員会運営事業	26 まちづくり推進委員会 運営事業	通年6回 旭丘交流館:127人 福山明るいまちづくり協議会会費負担、東部文化フェスタ2026助成金負担、わが町紹介パネル製作など	通年を通して、スムーズな事業展開のため開催し、事業報告、審議事項で事業の進捗、検討を進めて取組んだ。	次年度も通年を通して開催し、事業の活性化に向けて取組む。	・まちづくり事務局会

# 監 査 結 果

2025年度(令和7年度)旭丘学区まちづくり推進事業の決算について、証拠書類及び関係帳簿の監査をいたしました結果、正確かつ適正に事務処理が行われていることを確認しました。

2026年(令和8年) 3月 31日

旭丘学区まちづくり推進委員会

監 査

難 波 賢一



監 査